

人権月間に伝えたいこと

校長 林 久徳

12月は人権月間です。12月が人権月間に定められたのは、1948年12月10日に世界人権宣言が出されたからです。世界人権宣言は、すべての人間が生まれながらに基本的人権を持っているということを初めて公式に認めた宣言です。フランス・パリで開かれた第3回の国際連合総会で、「あらゆる人と国が達成しなければならない共通の基準」として採択されました。この宣言の中には、「自由権」と「社会権」がともにうたわれています。「自由権」として、身体的自由、拷問・奴隷の禁止、思想や表現の自由、参政権など、「社会権」として、教育を受ける権利や労働者が団結する権利、人間らしい生活をする権利などがふくまれています。



毎年12月の朝会では子どもたちに人権の大切さを話すのですが、上記の様なことを言っても伝わりません。今年は、詩人の谷川俊太郎さんがかかれた「ともだち」という絵本を読んで人権の大切さを考えてみました。

1冊の絵本ですが、友達について小さなテーマごとに書かれています。「ともだちって」というテーマでは

ともだちって いっしょにかえりたくなるひと。

ともだちって おかあさんやおとうさんにも いえないことを そうだんできるひと。「ひとりでは」というテーマでは

ひとりでは もてない おもいものも ふたりでなら もてる。

ひとりでは できないことも ともだちと ちからをあわせれば できる。

「どんなきもちかな」というテーマでは

なかまはずれに されたら どんなきもちかな。

ないしょばなしを されたら どんなきもちかな。

「ともだちはともだち」というテーマでは

すきなものが ちがっても ともだちは ともだち。

ことばが つうじなくても ともだちは ともだち。



そして、最後に次のような詩で締めくくられています。おうちでもぜひ、身近な人権について、子どもさんと一緒に考えてみてください。

ともだちと てをつないで ゆうやけをみた
ふたりっきりで うちゅうに うかんでる そんなきがした
ともだちと けんかして うちへ かえった
こころの なかが どろで いっぱい そんなきがした
ともだちも おんなじ きもちかな

学習発表会

今年も、地域、保護者の皆様と共に楽しい時間を過ごすことができました。児童の一生懸命の発表をご覧いただきましてありがとうございました。学習したことをもとに、学習の発展であったり、学習で身につけた力であったりと工夫を凝らした発表ができました。



全校合唱



音楽部活



学校運営協議会読書部会



シルバーコーラス



1, 3年劇



和太鼓部活



PTA コーラス

最後までたくさんの方々にご参観いただき、終了後の後片付けまでご協力をいただきましてありがとうございました。

学習発表会の感想

1年

- 練習では、後ろを向かず前を向いて演技することと大きな声でセリフを言うことを頑張りました。本番、みんなに見られるのがはずかしくてドキドキしました。練習より声が大きく出せたので、よかったと思いました。

2年

- 私は、太鼓（元気いっぱい）も劇（にじ色のハーモニー）も声を大きく出すことを目標にして、練習を頑張ってきました。セリフが続くと、だんだん声小さくなってしまいますので、そこは特に気をつけました。本番では、どちらも大きな声を出せたと思います。音楽部活の発表では、小太鼓を音楽に合わせてリズムよく演奏することができました。音楽部活をやっていて良かったです。



- 僕は、太鼓（元気いっぱい）ではみんなと同じリズムでたくことをめあてにしました。劇（にじ色のハーモニー）は声を大きくすることと動きを大きくすることを意識して練習してきました。本番では、自分の大好きな本能寺の変の踊りを楽しくできたので良かったです。やる前から楽しくしようと思っていたので、緊張せずに演技することができました。
- 僕のめあては、リズムに合わせて鍵盤ハーモニカの演奏をすることです。劇では、登場シーンやみんなで協力する場面で、セリフに気持ちを込めることに気をつけて何度も練習しました。悲しいシーンでは、声を小さくしてもお客さんに聞こえるようにするのが難しかったです。本番は、ドキドキしたけど楽しくできました。
- 練習の時は、セリフをしっかり覚えることと語尾までしっかり声を出すことをめあてにして頑張ってきました。本番では、どれも失敗せずにできたので嬉しかったけど、緊張もしました。「みんな、こうしてやる。」のセリフは、うまく言えたり、楽しくできました。元気いっぱい太鼓では、リズムに合わせてしっかり演奏できて、気持ちよかったです。

- 歌はやさしい声を出すこと、劇ではふりつけにめりはりをつけて最後まではっきりセリフを言うことを目標にして練習してきました。本番では、「いつだって」の曲をほっぺたの上にあげて歌えたので、きれいな声を出せたので良かったです。劇では、声を大きく出すことができました。「みんなが仲良くしたらいいんだ。」のセリフを頑張ってきて、うまくできたので嬉しかったです。



3年

- 「銀のメダル」という劇をやります。旅人と神であるアポロの二役になりました。特にアポロのせりふが長く、覚えるのが大変です。でも、アポロの役の大切さ、特に、人々に平和をうたえていくことの大切さは、今のぼくたちにも関係することです。100年に一度、人間にうたえるのです。1年生と3年生が協力して、素晴らしい劇にしていきたいです。

- ぼくは、今まで、動き方とか、声は大きく出すことをがんばってきました。なぜなら、劇「銀のメダル」を完ぺきにしたいからです。練習で大きな声を出すのが大変だったけど、だんだんやっていくうちに大きな声が出せました。明日は、カッコよくて一番上手な自分になりたいです。

今日は、きん張したけど、気にせずできました。

いろんな動き、声の大きさは完ぺきでした。ほめてもらってうれしかったです。



4年

- わたしは学習発表会でがんばったことが4つあります。一つ目は、劇で、めりはりをつけて歌ったことです。例えば、こわいところや楽しいところです。練習で、声の強弱や身振り手振りを考えてやっていたので本番でもできたのだと思います。二つ目は、ソロのところ。お腹から声を出せたと思います。なぜなら歌った後にのどがいたくなかったからです。劇が始まる前に発声練習をしたからできたのだと思います。三つ目は、合奏で、笑顔で演奏できたと思います。前歯を見せて、口角をあげるのを意識して歌いました。四つ目は、指揮をしっかり見られたことです。トライアングルでは、指揮を見ながらリズムに乗って鳴らせました。オルガンでは、鍵盤を見ながら指揮を見るのが難しかったけれど、見るとリズムがつかめてとてもひきやすかったです。劇や合唱では、きれいな声で歌うことができたと思いました。

- ぼくは、学習発表会で次の三つのことをがんばりました。まず、ちょっとトラブルがあっても、りんきおうへんに歌えました。「太陽のうた」を二回も歌ったけれど、発声練習の時から「きれいな声で歌おう」と意識していたから、二回ともきれいな声で歌えました。次に、堂々と横を見ずにふりをつけてできました。なぜ、どうどうとできたかという、練習の時から、「横を見ずにふりつけをやる。」と意識していたからだと思いました。最後に、合奏では、「チキチキバンバン」と「小さな世界」を演奏して、きれいな音で体育館にひびきわたるくらいきれいな合奏ができました。合奏の練習の時、みんなで音を合わせて練習してきたから音がきれいに出了たと思いました。この学習発表会をやって力になったことは、きれいな声で歌を歌えるようになったことです。



4年

- ・私が「ここがよかった・がんばった」と思ったことは四つあります。一つ目は、「太陽のうた」で暗いところ、明るいところの声のめりはりをつけて歌えたことです。二つ目は、声が遠くに届くように練習してきたので、ソロの時に、声が体育館にひびいたことです。三つ目は、合奏のときに下を向いてばかりじゃなくて、指揮の方も見られたことです。できた理由は、練習をたくさんして楽譜を見ないでできるようになったからだと思います。四つ目は、合奏のとき、速くならないようにできたことです。指揮をよく見て、周りの人の音も聞いてできたからと思いました。劇を初めてしたときは、たくさん止まっていたけれど、セリフをすらすら言えてよかったです。劇の練習では、まちがえたときにみんなで上手にできるように助け合える力がついたと思いました。
- ・合奏で指揮者の顔を見るのは、練習ではあまりできなかつたけど、歌詞を覚え、余裕をもって歌うと、本番では指揮者の顔をたくさん見られました。劇「太陽のうた」では、はじめと最後の言葉で少し間違えたところもあったけど、練習ほどまちがえませんでした。たぶん、本番の前日にむずかしいところやまちがえやすいところをイメージトレーニングしたからだと思います。合唱では、次はこんなふうに歌いたいとイメージをしたので、きれいに歌うことができたと思います。ぼくは、学習発表会を終えて、覚える力がついたと思います

5年

- ・5年生は朗読なので、台本を読むときに気を付けていることがあります。声の大きさは大声になりすぎず、間の取り方は、少し開けて読むことです。また、口をしっかりと開けてはっきり話すこともがんばっています。みんなから顔がしっかり見えるように視線はなるべく下を向かないようにしています。工夫していることは、おじいさんとナレーターで声の調子を変えていることです。その違いを感じてください。



6年

- ・今日、終わってうれしい気持ちです。それは、小学校生活で最後の学習発表会だったことと、劇も音楽もがんばってやれたからです。自分たちの劇は何回もやっていたからおもしろいかわからなかつたけど、みんな笑っていたのでほっとしました。地域の人たちも笑っていたので喜んでもらってうれしかったです。合奏のとき、人生のメリーゴーランドの最後から少し前のところはいつもなら打楽器で入り忘れがあったけど、今日はなかつたのでうれしかったです。学習発表会を通して成長したいと決めたことをがんばっていきたいです。
- ・音楽では、休み時間も練習していたので気持ちよく合奏できたし、きれいな音で叩いたり弾いたりできたのでうれしかったです。劇はゆっくりははっきりセリフを言えたので、これからはきはき言っていきたいなと思いました。練習では、セリフをかんでいただけだけど本番ではかまわずにセリフを言いきれました。それにいつもより少し大きい声で言えたので、これからは大きな声で発表したいです。最後の学習発表会はとても楽しかったです。

6年

- ・昨日まで、みんなで協力して練習してきました。体育館は保護者の方だけではなく、地域の人も見に来られていました。私は放送もして大変だったけど、最後まで上手に言えました。わたしは合奏でリハーサルするとき、どんどんリズムが速くなってしまったので本番ドキドキしたけど、まちがえずに演奏できたのでほっとしました。6年生の劇では、みんなに楽しんでもらったのですごくうれしかったです。音楽部活では、セリフの練習をする時間があまりなかつたけど、しっかり言えたのでびっくりしました。
- ・「たいらばやし」は見る人がおもしろく感じてくれたし、合奏も緊張したけれど、ちゃんと工夫通りに演奏できたので自分も面白かつたし、楽しかったです。これをまた感謝の会などにいかしてきはきと大きな声で言えるようにしたいです。劇ではみんなが笑ったのにつられて笑ったりできたのでとても楽しかったです。朗読やミュージカル・劇などたくさんの種類が出てきたので見ているときも楽しかったです。中学になってもこのような行事があったら盛り上げたいです。
- ・最後だったけれど、全部上手く力を発揮できたのでうれかつたし達成感がありました。劇では振りもセリフも大きく表現できたし、みんなに楽しんでもらえてうれしかったです。音楽ではいつも失敗していたところも上手く弾けたし、リズムも合ってほっとしました。劇でも音楽でも自覚的実行力が発揮できてうれしかったです。「よかつたね」「おもしろかつたよ。」といろいろ言ってもらえてうれかつたし、やりきつた感がしました。普段からも自覚的実行力を出せるようにしていきたいです。
- ・「たいらばやし」の劇はみんなと話し合いながらい劇になったのでうれしかったです。大きな声が出せたことをこれからの学校生活にも生かしていきたいです。みんなが笑ってくれて6年間の最後の劇がすごくよい発表をすることができてうれしいです。音楽ではきちんとバスキーボードが弾けるか最後の方の発表だったのでとても緊張していました。やっていくうちにだんだんリズムにのってきちんとできたので、こんなに楽しんでできるんだと感じました。中学校でもみんなと協力できるように頑張っていきたいです。



地域や保護者の皆様の出演も児童にとって良い刺激となりました。いろいろな出し物の準備や指導のご協力をいただき、地域と学校が一体となっていると実感できる良い学習発表会でした。